



「核内受容体作動物質探索に関する研究契約締結について」

株式会社ニムラ・ジェネティック・ソリューションズ（神奈川県厚木市、以下 NGS 社）は株式会社エンバイオテック・ラボラトリーズ（東京都千代田区、以下エンバイオテック社）との間で、核内受容体スクリーニングシステム（RCAS）等を利用し、マレーシア生物資源から新規有用物質の探索と研究開発を共同で行うことに関し今般合意に達しましたのでお知らせ致します。

昨今の分子生物学的な研究成果として、ヒトの核内受容体が生活習慣病や女性疾患などと深く関わりあっていることが明らかになってきていることから、本研究では、エンバイオテック社が開発した核内受容体等をターゲットとした効率的なスクリーニング法による新規有用化合物探索に注目し提携致しました。また本アッセイ系は、従来法に比べ夾雑物の影響を受けにくいと考えられており、天然物ライブラリースクリーニングにも応用可能な点も特徴のひとつとなっています。

本研究で NGS 社は、生物資源ライブラリーの提供と選択した新規有用物質の精製・単離や構造解析を主に実施し、またエンバイオテック社は、スクリーニングシステムの構築とスクリーニングを行い、医薬品等に有用な化合物を両者協力して見いだすことを目的としています。

当 社では、予ねてよりマレーシア生物資源からの有用物質を効率的に発見していくため、大学・公的研究機関やベンチャー企業等の有望なアッセイ系を持つ研究機関とのコラボレーションによって、共同で知的財産権を取得する研究スキームである「NGS アッセイ系ネットワーク」を構築して参りました。その一環として、本提携ではエンバイオテック社のご協力により、両者のベンチャー企業としての強みを効果的に活用しながら実りある研究開発成果を獲得し、事業化のためのライセンス活動に結びつけられることを期待しております。

平成18年6月1日

株式会社ニムラ・ジェネティック・ソリューションズ
代表取締役社長 清田圭一

<ご参考>

株式会社エンバイオテック・ラボラトリーズ (<http://enbiotec.co.jp/>)

代 表 者： 代表取締役 水上春樹

本 社： 東京都千代田区神田須田町 2-3-16

研 究 所： 茨城県つくば市赤塚字牛ヶ淵 586-9 池田理化ビル 2F